

記入例

利用量・搬出先調査票(利用量調査)

土木工事用

この調査票は、土木工事用です。建築工事、解体工事は別の様式を

元請業者が法人の場合、法人番号を記入

1. 工事概要

発注機関コード*1	8	3	4	7	0	0	担当者	国土 太郎		法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	← http://www.houjin-bangou.nta.go.jp
TEL	000 (000) 000						請負会社名	株式会社〇×△										記入年月日	H. 31 年 2 月 10 日					
FAX	000 (000) 000						会社所在地	埼玉県さいたま市中央区△△1-1-1										工事責任者	〇〇 〇〇					
																		調査票記入者	〇〇 〇〇					

工事名	〇×道路改良工事				請負金額	千 百 十 千 百 十 万 (1万円未満は四捨五入) 億 億 億 万 万 万 万 円 (税込)					工期	平成 30 年 10 月 25 日から 平成 31 年 2 月 8 日まで			
工事施工場所	住所コード*4(市町村)			工事種別コード*3							着工年月日<竣工年月日				
	1	1	1	0	5	B	-	1							

2. 建設資材利用実績

建設資材名称	建設資材利用量=搬入利用量(A)+現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「〇」を一つだけ選択して下さい)					
	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量			供給元住所 (住所コード*4)				
			1箇所目	2箇所目	3箇所目	他の工事 現場 (内陸)	他の工事 現場 (海面)	再資源化 施設	土砂 ストックヤード	その他
山砂、山土などの新材(採取土、購入土)	1250 締めm3	1250 締めm3								
土質改良土(土質改良プラントからの購入土) (第1種~第4種改良土)			1箇所目	2箇所目	3箇所目					
建設発生土 (第1種~第4種建設発生土、浚渫土以外の泥土)	994 締めm3	500 締めm3	1箇所目	2箇所目	3箇所目	〇				
浚渫土			1箇所目	2箇所目	3箇所目					
建設汚泥処理土 (第1種~第4種処理土)			1箇所目	2箇所目	3箇所目					
再生コンクリート砂			1箇所目	2箇所目	3箇所目					

建設資材名称	建設資材利用量=搬入利用量(A)+現場内利用量(B)		うち、再生資材利用量	
	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)
コンクリート用再生骨材 H を用いた生コンクリート	15 トン			
コンクリート用再生骨材 M を用いた生コンクリート				
コンクリート用再生骨材 L を用いた生コンクリート	50 トン			
上記以外の生コンクリート (新材も含む上記以外の全て)	235 トン	235 トン	0 トン	
コンクリート用再生骨材 H、M、L を用いたコンクリート二次製品(有筋、無筋を問わず)				
上記以外のコンクリート二次製品 (新材を含む上記以外の全て。有筋、無筋を問わず)				
木材				
アスファルト・コンクリート	1500 トン	1500 トン	1230 トン	0 トン
砕石				
鉞さい				
クラッシャーラン	1000 m3	1000 m3	1000 m3	0 m3
ぐり石、割ぐり石、自然石	300 m3	300 m3	0 m3	0 m3
その他の砕石				

灰色の部分は、記入する必要がありません。

単位に注意

コードの間違いに注意

桁間違い、単位の違いに注意

元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

裏面の「現場内利用量」も記入

コードの間違いに注意

土質改良土、建設発生土等を利用した供給元情報を記入し、本調査票をコピーして記入してください。



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保全に万全を期すことをお約束するものです。

記入例

利用量・搬出先調査票(利用量調査)

建築工事用
この調査票は、建築工事用です。
土木工事、解体工事は別の様式

元請業者が法人の場合、法人番号を記入

1. 工事概要

発注機関コード*1	7	9	0	5	0	0	担当者	国土 太郎						
法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	← http://www.houjin-bangou.nta.go.jp
請負会社名	〇〇〇〇建設株式会社										記入年月日	H. 31 年 3 月 18 日		
会社所在地	東京都千代田区〇〇〇1-2-3										工事責任者	〇〇 〇〇		
TEL	000 (000) 0000										調査票記入者	〇〇 〇〇		
FAX	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇													

工事名: 〇〇〇地区新築工事他
住所コード*4(市町村): 1 3 1 1 4
工事種別コード*3: N

請負金額: 2 億 2 千 8 百 〇 〇 〇 円 (税込)
延床面積: 2 万 5 千 〇 〇 〇 m²

工期: 平成 29 年 1 月 20 日から 平成 31 年 3 月 15 日まで

構造: 1 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 鉄筋コンクリート造 3 鉄骨造 4 コンクリートブロック造 5 木造 6 その他

桁間違い、単位の違いに注意

コードの間違いに注意

元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

着工年月日<竣工年月日

灰色の部分は、記入する必要がありません。

2. 建設資材利用実績

建設資材名称	建設資材利用量=搬入利用量(A)+現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「○」を一つだけ選択して下さい)						
	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量			他の工事現場(内陸)	他の工事現場(海面)	再資源化施設	土砂ストックヤード	その他	
山砂、山土などの新材(採取土、購入土)		m3									
土質改良土(土質改良プラントからの購入土) (第1種~第4種改良土)		m3			1箇所目						
建設発生土 (第1種~第4種建設発生土、浚渫土以外の泥土)	8350	m3	7430	m3	1箇所目	3110	1	1	2	3	4
浚渫土		m3		m3	2箇所目	4320	1	1	2	2	9
建設汚泥処理土 (第1種~第4種処理土)		m3		m3	3箇所目						
再生コンクリート砂		m3		m3	1箇所目						
		m3		m3	2箇所目						
		m3		m3	3箇所目						

単位に注意

裏面の「現場内利用量」も記入

土質改良土、建設発生土等を利用した場合は、その供給元を記入してください。本調査票をコピーして記入し、提出いただきます。

建設資材名称	建設資材利用量=搬入利用量(A)+現場内利用量(B)		うち、再生資材利用量	
	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)		
コンクリート用再生骨材 H を用いた生コンクリート		トン		
コンクリート用再生骨材 M を用いた生コンクリート		トン		
コンクリート用再生骨材 L を用いた生コンクリート		トン		
上記以外の生コンクリート (新材も含む上記以外の全て)	82500	トン	82500	トン
コンクリート用再生骨材 H、M、L を用いたコンクリート二次製品(有筋、無筋を問わず)		トン		
上記以外のコンクリート二次製品 (新材も含む上記以外の全て。有筋、無筋を問わず)		トン		
木材	4900	トン	4900	トン
アスファルト・コンクリート	250	トン	250	トン
砕石		m3		
鉾さい		m3		
クラッシャーラン	52	m3	52	m3
ぐり石、割ぐり石、自然石		m3		m3
その他の砕石		m3		m3

「搬入利用量(A)」≥「再生資材利用量」

コードの間違いに注意



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保全に万全を期すことをお約束するものです。

記入例

利用量・搬出先調査票(搬出先調査)

建築工事中用

この調査票は、建築工事中用です。土木工事、解体工事は別の様式を使用してください。

3. 建設副産物発生・搬出実績

灰色の部分は、記入する必要がありません。

建設副産物名称	発生量	現場内利用量	現場内減量化量	現場外搬出について										運搬距離	搬出先種類(該当する「搬出先種類」に「○」を1つだけ選択して下さい)					廃棄物最終処分場
				場外搬出量(合計)	場外搬出量(内訳)	搬出先住所(住所コード*4)				売却	他工事	広域認定制度による処理	中間処理施設			単純焼却				
						再資源化施設	サーマルリサイクル	再資源化施設(合材プラント)	左記以外											
がれき類 コンクリート塊	9800 トン	トン	トン	9800 トン	1箇所目	7680 トン	1	1	2	3	2	58 km	○							
					2箇所目	2120 トン	1	1	1	0	6								30 km	
					3箇所目	トン														
アスファルト・コンクリート塊	250 トン	トン	トン	250 トン	1箇所目	250 トン	1	1	2	1	8	74 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
木くず 柱、ボードなどの木材が廃棄物となったもの	1300 トン	トン	トン	1300 トン	1箇所目	1050 トン	1	1	2	0	1	30 km								
					2箇所目	250 トン	1	2	1	1	9								19 km	
					3箇所目	トン														
立木、除根材などが廃棄物となったもの	トン	トン	トン	トン	1箇所目	トン						km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
建設汚泥	29500 トン	トン	8900 トン	20600 トン	1箇所目	10600 トン	1	1	2	3	4	20 km	○							
					2箇所目	10000 トン	1	2	2	0	3								27 km	
					3箇所目	トン														
上記以外の建設廃棄物 金属くず	490 トン	トン	トン	490 トン	1箇所目	490 トン	1	3	1	2	2	30 km	○							
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
紙くず	740 トン	トン	トン	740 トン	1箇所目	740 トン	1	1	2	1	8	74 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
廃プラスチック類 (廃塩化ビニル管・継手を除く)	650 トン	トン	トン	650 トン	1箇所目	650 トン	1	1	2	1	8	74 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
廃塩化ビニル管・継手	0.08 トン	トン	トン	0.08 トン	1箇所目	0.08 トン	1	1	2	1	8	74 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
廃石膏ボード	530 トン	トン	トン	530 トン	1箇所目	530 トン	1	3	1	2	1	21 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
その他の分別された廃棄物 (ガラスくず、陶磁器くず、繊維くず、廃油)	830 トン	トン	トン	830 トン	1箇所目	830 トン	1	1	2	3	4	20 km	○							
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	940 トン	トン	トン	940 トン	1箇所目	940 トン	1	1	2	0	1	30 km								
					2箇所目	トン													km	
					3箇所目	トン														
建設廃棄物合計	45030.08 トン	トン	8900 トン	36130.08 トン																

単位に注意

コードの間違いに注意 運搬距離は整数で記入

(注)一般廃棄物は対象外です

建設副産物名称	発生量	現場内利用量	現場外搬出について										運搬距離	搬出先種類(該当する「搬出先種類」に「○」を1つだけ選択して下さい)					土捨場・残土処分場
			場外搬出量(合計)	場外搬出量(内訳)	搬出先住所(住所コード*4)				売却	他工事現場	土質改良プラント	工事予定地・仮置場・ストックヤード		探石場・砂利採取跡地等復旧事業	廃棄物最終処分場				
建設発生土 (第1種~第4種、浚渫土以外の泥土)	52800 m ³	920 m ³	51880 m ³	1箇所目	30800 m ³	1	1	2	3	9	60 km	○							
				2箇所目	21080 m ³	1	3	1	0	6									30 km
				3箇所目	m ³														

単位に注意

表面の「現場内利用量」も記入

コードの間違いに注意 運搬距離は整数で記入

(注)土壌汚染対策法に基づく汚染土壌は対象外です。

建設副産物の発生状況を把握し、適切な搬出先を選定し、搬出先へ搬出する場合は、本調査票をコピーし、搬出先へ提出してください。

建設副産物の発生状況を把握し、適切な搬出先を選定し、搬出先へ搬出する場合は、本調査票をコピーし、搬出先へ提出してください。

記入例

利用量・搬出先調査票(利用量調査)

解体工専用

この調査票は、解体工専用です。土木工事、建築工事は別の様式

元請業者が法人の場合、法人番号を記入

← <http://www.houjin-bangou.nta.go.jp>

1. 工事概要

発注機関コード*1	7 9 0 5 0 0	担当者	国土 太郎	法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	請負会社名	〇〇〇〇建設株式会社	記入年月日	H. 30 年 12 月 27 日
		TEL	000 (000) 0000			会社所在地	東京都千代田区〇〇〇1-2-3	工事責任者	〇〇 〇〇
						TEL	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	調査票記入者	〇〇 〇〇
						FAX	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇		

2. 建設資材利用実績

建設資材名称	建設資材利用量=搬入利用量(A)+現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「○」を1つだけ選択して下さい)					
	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量		供給元住所 (住所コード*4)	他の工事 現場 (内陸)	他の工事 現場 (海面)	再資源化 施設	土砂 ストックヤード	その他
山砂、山土などの新材(採取土、購入土)	1680 m3	1680 m3								
土質改良土(土質改良プラントからの購入土) (第1種~第4種改良土)					1箇所目					
建設発生土 (第1種~第4種建設発生土、浚渫土以外の泥土)	184 m3	0 m3	184 m3		1箇所目					
浚渫土					2箇所目					
建設汚泥処理土 (第1種~第4種処理土)					3箇所目					
再生コンクリート砂					1箇所目					
					2箇所目					
					3箇所目					

単位に注意

桁間違い、単位の違いに注意

コードの間違いに注意

元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

着工年月日<竣工年月日

灰色の部分は、記入する必要がありません。

裏面の「現場内利用量」も記入

コードの間違いに注意

「搬入利用量(A)」≥「再生資材利用量」

は、土質改良土、建設発生土等を利用した場合は、供給元情報を記入してください。

本調査票は、建設発生土等を利用した場合は、供給元情報を記入してください。

本調査票は、建設発生土等を利用した場合は、供給元情報を記入してください。



このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保全に万全を期すこととお約束するものです。

記入例

利用量・搬出先調査票(搬出先調査)

解体工事用

この調査票は、解体工事用です。土木工事、建築工事は別の様式を使用してください。

3. 建設副産物発生・搬出実績

灰色の部分は、記入する必要がありません。

建設副産物名称 <small>(注)一般廃棄物は対象外です</small>	発生量	現場内利用量	現場内減量化量	現場外搬出について																		
				現場外搬出量(合計)	現場外搬出量(内訳)	搬出先住所 (住所コード*4)	運搬距離	搬出先種類(該当する「搬出先種類」に「○」を1つだけ選択して下さい)					中間処理施設			廃棄物 最終処 分場						
								売却	他工事	広域認 定制度に よる 処理	再資源化施設 合材 プラント	左記 以外	サーマル リサイクル	単純 焼却								
がれき類 コンクリート塊	17280 トン	トン	トン	1箇所目	12350 トン	1	1	2	3	2	58 km											
				2箇所目	4930 トン	1	1	1	0	6	30 km											
				3箇所目	トン						km											
アスファルト・コンクリート塊	12 トン	トン	トン	1箇所目	12 トン	1	1	2	1	8	74 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
木くず 柱、ボードなどの木材が廃棄物となったもの	243 トン	トン	トン	1箇所目	93 トン	1	1	2	0	1	30 km											
				2箇所目	150 トン	1	2	1	1	9	19 km											
				3箇所目	トン						km											
立木、除根材などが廃棄物となったもの	16 トン	トン	トン	1箇所目	16 トン	1	1	2	0	1	30 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン																	
上記以外の建設廃棄物 金属くず	33 トン	トン	トン	1箇所目	33 トン	1	3	1	2	2	30 km	○										
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
紙くず	9 トン	トン	トン	1箇所目	9 トン	1	1	2	1	8	74 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
廃プラスチック類 (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.01 トン	トン	トン	1箇所目	0.01 トン	1	1	2	1	8	74 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
廃塩化ビニル管・継手	24 トン	トン	トン	1箇所目	24 トン	1	1	2	1	8	74 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
廃石膏ボード	4 トン	トン	トン	1箇所目	4 トン	1	3	1	2	1	21 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
その他の分別された廃棄物 (ガラスくず、陶磁器くず、繊維くず、廃油)	トン	トン	トン	1箇所目	トン						km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.5 トン	トン	トン	1箇所目	0.5 トン	1	1	2	1	8	74 km											
				2箇所目	トン						km											
				3箇所目	トン						km											
建設廃棄物合計	17621.51 トン	トン	トン	17621.51 トン																		

単位に注意

コードの間違いに注意 運搬距離は整数で記入

建設副産物名称 <small>(注)土壌汚染対策法に基づく汚染土壌は対象外です。</small>	発生量	現場内利用量	現場外搬出について																			
			現場外搬出量(合計)	現場外搬出量(内訳)	搬出先住所 (住所コード*4)	運搬距離	搬出先種類(該当する「搬出先種類」に「○」を1つだけ選択して下さい)					廃棄物 最終処 分場										
建設発生土 (第1種~第4種、浚渫土以外の泥土)	184 m ³	184 m ³	0 m ³	1箇所目	m ³						km											
				2箇所目	m ³						km											
				3箇所目	m ³						km											

単位に注意

表面の「現場内利用量」も記入

コードの間違いに注意 運搬距離は整数で記入

建設副産物の搬出先を当該工事現場外へ搬出した場合は、本調査票をコピーし、その搬出先ごとに記入してください。

建設副産物の搬出先を当該工事現場外へ搬出した場合は、本調査票をコピーし、その搬出先ごとに記入してください。